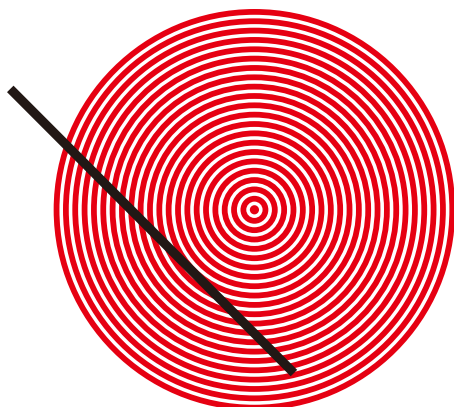




平成26年度 [第18回] 文化庁メディア芸術祭  
7月7日(月)より作品募集をスタートします。  
<http://j-mediaarts.jp>



第18回

# 文化庁 メディア芸術祭

18th JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL

文化庁メディア芸術祭実行委員会は、平成26年度 [第18回] 文化庁メディア芸術祭を開催します。

文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性や創造性をもつ優れた作品を顕彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。昨年度 [第17回] は、過去最多となる世界84の国と地域から4,347点の作品の応募があるなど、文化庁メディア芸術祭は国際的なフェスティバルへと成長を続けています。

18回目となる今年度は、7月7日(月)より作品募集を開始します。過去1年間(2013年9月13日～2014年9月2日)に完成、または発表された作品を対象に、プロ、アマチュア、自主制作、商業作品を問わず、世界中から広く作品を募集します。審査委員会による審査を経て、部門ごとに大賞、優秀賞、新人賞、審査委員会推薦作品、および功労賞を11月下旬に発表する予定です。

文化庁メディア芸術祭での受賞は、国内外のフェスティバルへの出展や創作活動の支援など、関連事業を通じた新たな活動にもつながります。

**募集期間:2014年7月7日(月)～9月2日(火) 日本時間 18:00 必着**

今年度の文化庁メディア芸術祭も、作品募集からスタートします。

インタラクティブアート、映像、ゲーム、ウェブ、アニメーション、マンガをはじめとするメディア芸術の広範な表現による多彩な作品をお待ちしております。

## 広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤  
Email:jmaf18-pr@hilopress.net Tel:03-5577-4792 Fax:03-6369-3596 ※受付時間:平日10時～18時  
〒101-0047 東京都千代田区千代田1-18-11-905



昨年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の様子

## 1. 文化庁メディア芸術祭について

### ■ 同時代の表現の諸相をうつす“メディア芸術”

新しいメディアとともに発展する表現＝「メディア芸術」。デジタル技術（＝ニューメディア）を手法とする作品や、出版や配給等のコミュニケーションメディアによって拡張を遂げるマンガ、アニメーションは、既存の芸術概念に留まらない新たな文化を創成しています。情報技術やデジタル技術を駆使した表現や、印刷・映像技術とともに普及する作品は、現在のテクノロジーや社会状況に批評的な視点を与え、多様化する価値観に対し想像力の共有をもたらします。「メディア芸術」は、現在に起こる新たな創作活動を芸術へと媒介し、さらには次代に続く文化を醸成する媒体として、同時代の表現の諸相をうつしだします。

### ■ ボーダレスに表現と向き合い、“現在”を見出すフェスティバル

文化庁メディア芸術祭は、情報技術やメディアの上に生まれる多様な表現活動に対し、“現在”を問い続けるフェスティバルです。世界各地から集うたくさんの作品は、複製技術の拡大と浸透によって変化する思考やコミュニケーションの様式を反映し、既存の手法や形式に留まらない多様な表現のあり方を提示します。本フェスティバルでは、優れたメディア芸術作品の顕彰を通して、時代とともに更新する創造活動に“現在”を見出し、受賞作品展を通じ、その作品群を広く紹介します。メディア芸術作品が有するリアリティや個人の創造性からは、同時代の芸術や文化をより深く理解するための新たな発見があるでしょう。

#### ・各賞 受賞発表は11月下旬を予定しています。

高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。



昨年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭 贈呈式の様子

文化庁メディア芸術祭 トロフィー



## ■受賞作品は国内外で広く紹介されます

文化庁メディア芸術祭での受賞は、国内外のフェスティバルへの出展や創作活動の支援等、関連事業を通じた新たな活動にもつながります。「文化庁メディア芸術祭地方展」では、受賞作品を中心に優れたメディア芸術作品を展示・上映するほか、「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」「海外メディア芸術祭等参加事業」では、国内外のメディア芸術関連のフェスティバル等に参加し、受賞作品等を紹介します。また、「メディア芸術クリエイター育成支援事業」では、文化庁メディア芸術祭において受賞もしくは審査委員会推薦作品に選ばれた若手作家を対象に新しい作品の企画を募り、制作費の支援や専門家からのアドバイスを通じ、企画の具体化を支援します。



文化庁メディア芸術祭 富士の国やまなし展  
～五感で旅するメディア芸術の世界(2013)

## 平成26年度 [第18回] 文化庁メディア芸術祭 開催概要

作品募集	2014年7月7日(月)～9月2日(火) 日本時間 18:00 必着 ※注目作品の情報受付:2014年7月7日(月)～8月3日(日)
受賞発表	2014年11月下旬
贈呈式	2015年2月3日(火) 会場:国立新美術館(東京・六本木)
受賞作品展	2015年2月4日(水)～2月15日(日) ※2/10(火)休館 会場:国立新美術館(東京・六本木) 他
文化庁メディア芸術祭 公式ウェブサイト	<a href="http://j-mediaarts.jp">http://j-mediaarts.jp</a>
Facebook	<a href="http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival">http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival</a>
Twitter	@JMediaArtsFes
主催	文化庁メディア芸術祭実行委員会
問合せ先	文化庁メディア芸術祭事務局 [CG-ARTS協会内] Email: <a href="mailto:jmaf@cgarts.or.jp">jmaf@cgarts.or.jp</a> Tel: 03-3535-3501 ※受付時間: 平日10時～18時

※各事業の詳細は、文化庁ウェブサイト (<http://www.bunka.go.jp>) にてご確認ください。



## 2. 募集作品について 時代を映し出す新たな表現を募集します。

昨年度 [第17回] は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において、下記の作品が大賞に輝きました。

### アート部門：

本部門には、テクノロジーとともに新たな価値観を探り、批評的な視点をもつ様々な表現が集います。インタラクティブアート、メディアインスタレーション、映像作品、映像インスタレーション、グラフィックアート(デジタル写真を含む)、ネットアート、メディアパフォーマンス等、既存のジャンルを越境する意欲的な作品の応募をお待ちしています。

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭  
アート部門 大賞受賞作品

目に見えない電磁波を視覚と聴覚で捉える  
インスタレーション

『crt mgn』

メディアインスタレーション

Carsten NICOLAI [ドイツ]



©2013 Carsten Nicolai. All Rights reserved Photo: Uwe Walter  
Courtesy Galerie EIGEN + ART Leipzig/Berlin and The Pace Gallery

### エンターテインメント部門：

本部門には、遊びや体験をつくりだす多種多様な形式の作品が集います。ゲーム作品、ミュージックビデオや自主制作・広告映像、ガジェット、ウェブプロモーション、オープンソースプロジェクト、アプリケーション等、創意あふれる作品の応募をお待ちしています。

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭  
エンターテインメント部門 大賞受賞作品

故アイルトン・セナの走行データを音と光を用いた  
壮大なインスタレーションへと蘇らせるプロジェクト

『Sound of Honda / Ayrton Senna 1989』

映像、ウェブサイト、メディアインスタレーション、サウンド

菅野 薫 / 保持 壮太郎 / 大来 優 / キリーロバ ナージャ /  
米澤 香子 / 関根 光才 / 澤井 妙治 / 真鍋 大度 [日本/ロシア]



©Honda Motor Co., Ltd. and its subsidiaries and affiliates.



## アニメーション部門：

本部門には、圧倒的な物語や個性的な表現力をもった、完成度とオリジナリティを極めた作品が集います。劇場アニメーション、短編アニメーション、テレビアニメーション、オリジナルビデオアニメーション等、手描きによる作画からフル3DCG、それらを融合させた技法まで幅広い作品の応募をお待ちしています。

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭  
アニメーション部門 大賞受賞作品

韓国系ベルギー人のユン監督が自身の  
数奇な半生を描いたドキュメンタリー・アニメーション

### 『はちみつ色のユン』

ドキュメンタリー・アニメーション  
ユン/ローラン・ボアロー [ベルギー/フランス]



©Mosaïque Films - Artémis Productions - Panda Média - Nadasdy Film - France 3 Cinéma - 2012

## マンガ部門：

本部門には、ネットや電子媒体による発表形態の多様化に伴い、マンガの可能性を拡張するような作品が多く集まります。単行本で発行されたマンガ、雑誌等に掲載されたマンガ、ネット上で発表されたマンガ、同人誌などの自主制作のマンガ等、世界に届くパワーあふれる作品の応募をお待ちしています。

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭  
マンガ部門 大賞受賞作品

「人間賛歌」と称されるテーマで  
連載28年目を迎えた人気シリーズ

### 『ジョジョリオン -ジョジョの奇妙な冒険Part8-』

荒木 飛呂彦 [日本]



©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/SHUEISHA

#### ※注目の作品を教えてください。

同時代の優れたメディア芸術作品の応募を促進するため、公式ウェブサイトにて、メディア芸術作品の情報をみなさまから広く受け付けます。いただいた作品情報は、事務局にて調査を実施し、作品応募へとつなげます。

受付期間：2014年7月7日(月)～8月3日(日)

※歴代受賞作品等は、アーカイブサイト (<http://archive.j-mediaarts.jp>) でご確認ください。



### 3. 応募方法 公式ウェブサイトよりご応募ください。

応募申込、作品応募は公式ウェブサイト (<http://j-mediaarts.jp>) で手続き可能です。応募申込として必要情報を入力し、審査用資料のデータをアップロードすれば完了です。また、配布中の募集要項に添付された応募用紙を同封し、郵送で応募することも可能です。

※応募方法等の詳細は、公式ウェブサイト (<http://j-mediaarts.jp>)、募集要項でご確認ください。

## 4. 平成26年度 [第18回] 文化庁メディア芸術祭実行委員会

**会長** 青柳 正規 (文化庁長官)

**運営委員** 青木 保 (国立新美術館長)

建畠 哲 (京都市立芸術大学長)

古川 タク (アニメーション作家)

**審査委員** **アート部門**

植松 由佳 (国立国際美術館主任研究員)

岡部 あおみ (美術評論家)

佐藤 守弘 (視覚文化研究者 / 京都精華大学教授)

高谷 史郎 (アーティスト)

三輪 眞弘 (作曲家 / 情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 教授)

**エンターテインメント部門**

飯田 和敏 (ゲーム作家 / デジタルハリウッド大学教授)

宇川 直宏 (現在美術家 / 京都造形芸術大学教授 / DOMMUNE主宰)

久保田 晃弘 (アーティスト / 多摩美術大学教授)

東泉 一郎 (デザイナー / クリエイティブディレクター)

米光 一成 (ゲームデザイナー / 立命館大学教授)

**アニメーション部門**

大井 文雄 (アニメーション作家)

小出 正志 (アニメーション研究者 / 東京造形大学教授)

高橋 良輔 (アニメーション監督)

森本 晃司 (アニメーション監督)

和田 敏克 (アニメーション作家)

**マンガ部門**

伊藤 剛 (マンガ評論家 / 東京工芸大学准教授)

犬木 加奈子 (マンガ家 / 大阪芸術大学客員教授)

斎藤 宣彦 (編集者 / マンガ研究者)

すがや みつる (マンガ家 / 京都精華大学教授)

ヤマダ トモコ (マンガ研究者)

**選考委員** **アート部門 (予定)**

工藤 健志 (青森県立美術館学芸員)

小町谷 圭 (メディアアーティスト / 札幌大谷大学講師)

中尾 智路 (福岡アジア美術館学芸員)

松井 茂 (詩人 / 東京藝術大学芸術情報センター助教)

鷺田 めるろ (金沢21世紀美術館キュレーター)



## 5. 平成26年度[第18回]文化庁メディア芸術祭 募集概要

募集部門 4部門(アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ)

**アート部門**

デジタル技術を用いて作られたアート作品

[インタラクティブアート、メディアインスタレーション、映像作品、映像インスタレーション、グラフィックアート(デジタル写真を含む)、ネットアート、メディアパフォーマンス等]

**エンターテインメント部門**

デジタル技術を用いて作られたエンターテインメント作品

[ゲーム(テレビゲーム、オンラインゲーム等)、映像・音響作品(ミュージックビデオ、自主制作・広告映像等)、空間表現(特殊映像効果・演出、パフォーマンスを含む)、ガジェット(プロダクト、ツールを含む)、ウェブ(ウェブプロモーション、オープンソースプロジェクトを含む)、アプリケーション等]

**アニメーション部門**

アニメーション作品

[劇場アニメーション、短編アニメーション、テレビアニメーション、オリジナルビデオアニメーション(OVA)等]

**マンガ部門**

マンガ作品

[単行本で発行されたマンガ、雑誌等に掲載されたマンガ(連載中の作品を含む)、コンピュータや携帯情報端末等で閲覧可能なマンガ、同人誌などの自主制作のマンガ等]

募集期間 2014年7月7日(月)～9月2日(火) 日本時間 18:00 必着

応募条件 ※応募する作品が下記に該当するかを必ず確認の上でご応募ください。

**2013年9月13日(金)から2014年9月2日(火)までの間に完成、または発表された作品。**

※更新、リニューアルされた作品で上記期間中に完成、または発表された作品も応募可能です。

※応募する作品数に制限はありませんが、同一の作品を複数の部門に重複して応募することはできません。

**応募者は作品の著作権を有することが必要です。**

**代理の方が応募する場合は、必ず著作権者に承諾を得てください。**

※応募申込をもって、応募者および作者の同意を得られたものとします。

※募集要項・公式ウェブサイトに記載された応募規定特記を必ずお読みいただき、同意の上でご応募ください。

各 賞 高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。

**メディア芸術祭賞(文部科学大臣賞)**

大 賞: 賞状、トロフィー、副賞60万円

優秀賞: 賞状、トロフィー、副賞30万円





新人賞: 賞状、トロフィー、副賞20万円

功労賞: 賞状、トロフィー

このほか、優れた作品を審査委員会推薦作品として選定します。

平成26年度[第18回]文化庁メディア芸術祭 作品募集告知  
 広報用素材貸出申請書

「第18回文化庁メディア芸術祭」広報用として、下記のデータを御用意しております。貸出を御希望の方は、こちらの申請書に必要事項と希望素材のアルファベットを○で囲み、文化庁メディア芸術祭事務局広報担当 [hilo Press内] まで御送り下さい。

<b>[A] ロゴ式(zip) ※使用規定(pdf) 同封</b>	<b>[B] バナー式(zip) ※使用規定(pdf) 同封</b>
 	 

**[C] 広報画像(zip)・・・(昨年度[第17回]文化庁メディア芸術祭大賞受賞作品画像[1]～[4].jpg)**  
 (昨年度[第17回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子[5][6].jpg) ※使用規定(pdf) 同封

<b>[1] アート部門大賞</b> 	<b>[2] エンターテインメント部門大賞</b> 	<b>[3] アニメーション部門大賞</b> 	<b>[4] マンガ部門大賞</b> 
キャプション([1][2][3][4]共通)：昨年度[第17回]文化庁メディア芸術祭 <b>[1] アート部門 大賞 『crt mgn』 Carsten NICOLAI</b> <b>[2] エンターテインメント部門 大賞 『Sound of Honda / Ayrton Senna 1989』</b> 菅野 薫/保持 壮太郎/大来 優/キリーロバ ナージャ/米澤 香子/関根 光才/澤井 妙治/真鍋 大度 <b>[3] アニメーション部門 大賞 『はちみつ色のユン』 ユン/ローラン・ポアロー</b> <b>[4] マンガ部門 大賞 『ジョジョリオン ージョジョの奇妙な冒険Part8ー』 荒木 飛呂彦</b>		指定クレジット： ©2013 Carsten Nicolai. All Rights reserved Photo: Uwe Walter Courtesy Galerie EIGEN + ART Leipzig/Berlin and The Pace Gallery ©Honda Motor Co., Ltd. and its subsidiaries and affiliates. ©Mosaïque Films - Artémis Productions - Panda Média - Nadasdy Film - France 3 Cinéma – 2012 ©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/SHUJESHIA	
<b>[5]</b> 		<b>[6]</b> 	
キャプション([5][6]共通)：昨年度[第17回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子 提供：文化庁メディア芸術祭事務局			

<広報画像の御使用にあたって>

※広報画像の御使用は「第18回文化庁メディア芸術祭」を御紹介いただく場合に限らせていただきます。フェスティバル終了後は使用できません。  
 ※広報画像[1]～[6]は全図で御使用ください。部分使用や作品に文字や他のイメージを重ねることは御控えください。  
 ※指定クレジットを必ず御記載いただきますようお願いいたします。またキャプションを可能な限り御記載いただきますようお願いいたします。  
 ※校正ゲラを広報担当まで御送りください。

貴社についてお知らせください

○貴社名 \_\_\_\_\_

○ご担当者名 \_\_\_\_\_ 様

○ご住所 〒 \_\_\_\_\_

○Tel \_\_\_\_\_

○ご掲載・放映の予定日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

○媒体名 \_\_\_\_\_

○所属部署 \_\_\_\_\_

○Email \_\_\_\_\_

○Fax \_\_\_\_\_

<個人情報の取り扱いについて>

御記入いただきました個人情報は、文化庁メディア芸術祭広報からの情報配信や御案内等必要な御連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤

Email : jmaf18-pr@hilopress.net Tel : 03-5577-4792 Fax : 03-6369-3596 ※受付時間：平日10時～18時 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-11-905